



りんご、ぶどう、おうとう等の栽培技術の開発や新品種開発、環境にやさしい病害虫防除技術の開発などに取り組んでいます。

◎研究部と主な業務

栽培部

りんごの省力・高品質安定生産技術、貯蔵管理技術及び土壌管理技術などの研究を行っています。
生産ステージや果実肥大、熟度調査、気象観測などの基礎的な調査も行っています。



省力的な受粉技術の開発

品種開発部

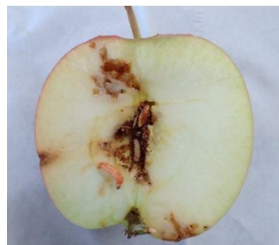
食味・栽培特性・貯蔵性に優れた新品種の開発、ニーズに対応した品種情報の提供、遺伝資源や新品種の収集保存と特性評価及び育種の効率化に取り組んでいます。



紅はつみ

病害虫管理部

りんごの病害や害虫の生態を解明し、発生に応じた効率的な防除法の開発に取り組んでいます。
防除の指針となる「りんご病害虫防除暦」を作成しています。



モモシクイガの被害

県南果樹部

ぶどう、おうとう、もも、西洋なしなどの特産果樹について、高品質栽培、本県に適した優良品種の選定、病害虫の発生生態や防除の研究を行っています。



ジュノハート



シャインマスカット

りんご史料館について

当研究所（りんご試験場）の前身である「苹果試験場」の庁舎は、昭和6年に英国のイーストモーリング研究所の建築様式を参考に建てられました。昭和43年に現庁舎が完成し、以後旧庁舎は平成13年の改修を経て、りんごの文化と伝統を伝える「りんご史料館」として利用されています。

当館では、無料でりんごのあれこれを学ぶことができます。りんご史料館と裏の鈴掛けの木（プラタナス）が平成28年に黒石市からくろいし景観資産に指定されました。



りんご史料館

◎所在地



◇りんご研究所

〒036-0332 黒石市大字牡丹平字福民 24
TEL 0172-52-2331 FAX 0172-52-5934



◇りんご研究所 県南果樹部

〒039-1527 三戸郡五戸町大字扇田字長下タ 2
TEL 0178-62-4111 FAX 0178-62-4114



◎主な研究成果

◆りんごの高密度植栽培

- 【目的】 高密度植栽培の本県における特性を明らかにする。
- 【結果】 高密度植栽培の特性を定植5年目まで調査した結果、通常のわい化栽培（密植栽培）に比べて成園化が早く、早期多収で、収量あたりの作業時間が同等～少ないことが明らかとなった。
- 【今後】 定植6年目以降の成木期の特性を明らかにする。



りんごの高密度植栽培（定植5年目）

◆りんご新品種の開発

- 【目的】 優良な新品種を開発する。
- 【結果】 早生新品種「紅はつみ」、良食味の極早生種「あおり16(恋空[®])」、貯蔵性に優れた「あおり15(星の金貨[®])」や「あおり21(春明21[®])」などの品種を育成した。
- 【今後】 良品生産、流通に向けた技術支援を行う。



紅はつみ



あおり16 (恋空[®])



あおり27(千雪[®])



あおり15(星の金貨[®])



あおり21 (春明21[®])



あおり24 (はつ恋くりん千雪[®])
「はつ恋くりんの会」の会員のみが
生産・販売可能です

◆環境にやさしいりんご病害虫防除技術の開発

- 【目的】 黒星病等の被害落葉を効率的に収集する技術を開発する。
- 【結果】 雪解け後の地面に張り付いた黒星病の被害落葉を、手作業の約30倍の作業能率で収集する落葉収集機を開発した。
- 【今後】 指導参考技術として生産者・指導者に提示し、生産現場に普及する。



落葉収集による被害葉の収集

◆おうとう(さくらんぼ)「ジュノハート」高品質安定生産技術の開発

- 【目的】 りんご研究所で開発した「ジュノハート」の高品質生産技術を開発する。
- 【結果】 摘果の目安、専用カラーチャートによる適期収穫など、「ジュノハート」の生産技術を明らかにし、栽培マニュアルを作成した。
- 【今後】 低樹高仕立や着色向上など、高品質安定生産のための新たな技術を開発し、生産者・指導者に普及する。



カラーチャートによる収穫適期の判別